

「環境未来都市」構想 推進フォーラムin四国



「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」（平成22年6月18日閣議決定）において、21の国家戦略プロジェクトのうちの一つとして「環境未来都市」構想が位置付けられています。これを受け政府では、「環境未来都市」構想を具体化していくため、「環境未来都市」構想有識者検討会を設置し、コンセプトに関する議論を重ね、今般、その整理を行いました。「環境未来都市」構想とは、限られた数の特定の都市・地域において、世界に類のない成功事例を創出するとともに、成功事例の国内外への普及展開による需要拡大、雇用創出、国際的課題解決力の強化を通じて、環境・超高齢化対応等を追求した人間中心の都市を目指すものです。また、社会経済システムイノベーションを引き起こすことにより、「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」を実現し、都市・地域レベルから持続可能な経済社会構造へと変革を遂げることを目指すものです。

本フォーラムでは、この「環境未来都市」構想の趣旨を紹介するとともに、有識者と経済界の代表をお招きし、「環境未来都市」構想を切り口とした持続可能な今後の都市・地域の在り方についてのディスカッションを行います。

5月17日（火）14:00～16:30
高松サンポート合同庁舎アイホール

◆プログラム◆

14:00	開会
14:05～14:35	「環境未来都市」構想コンセプト説明
14:35～14:50	国外事例の紹介 水口哲氏（株式会社博報堂ディレクター）
14:50～16:10	パネルディスカッション パネリスト：藤野純一氏、山中英生氏、関義雄氏
16:10～16:30	質疑応答
16:30	閉会

◆パネリスト紹介◆

藤野 純一 氏

（コーディネーター兼）
工学博士。（独）国立環境研究所社会環境システム研究センター持続可能社会システム研究室主任研究員。「環境未来都市」構想有識者検討会委員。中央環境審議会地球環境部会中長期ロードマップ小委員会委員。

山中 英生 氏

工学博士。京都大学助手、徳島大学助教授を経て、現在、徳島大学大学院教授、工学部建設工学科担当、地域連携推進室長、地域創生センター副センター長を併任。専門は都市交通計画、自転車交通、参加型まちづくりなど。

関 義雄 氏

工学博士。香川大学経済学部助教授、同教授を歴任。現在、香川大学大学院地域マネジメント研究科教授。専門は、商品学、特に商品の市場性と社会性・環境などとの調和。